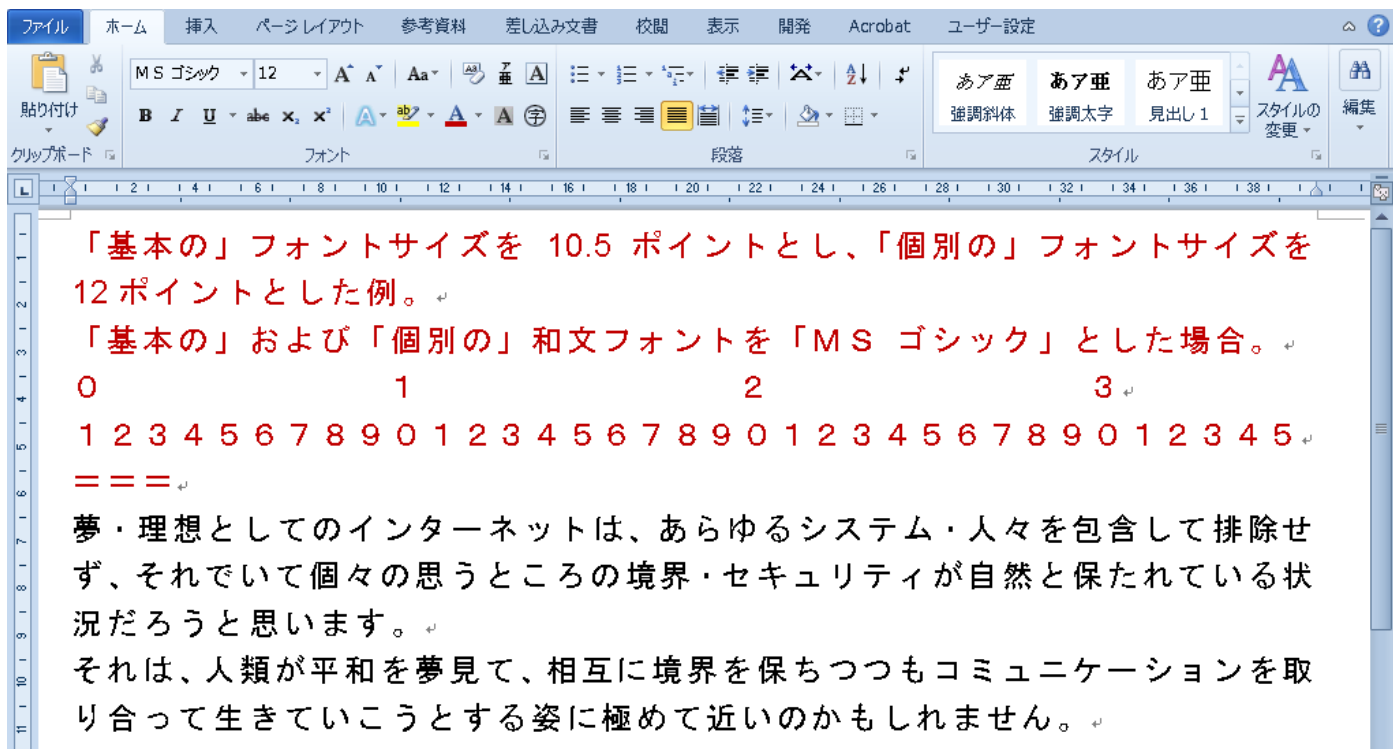


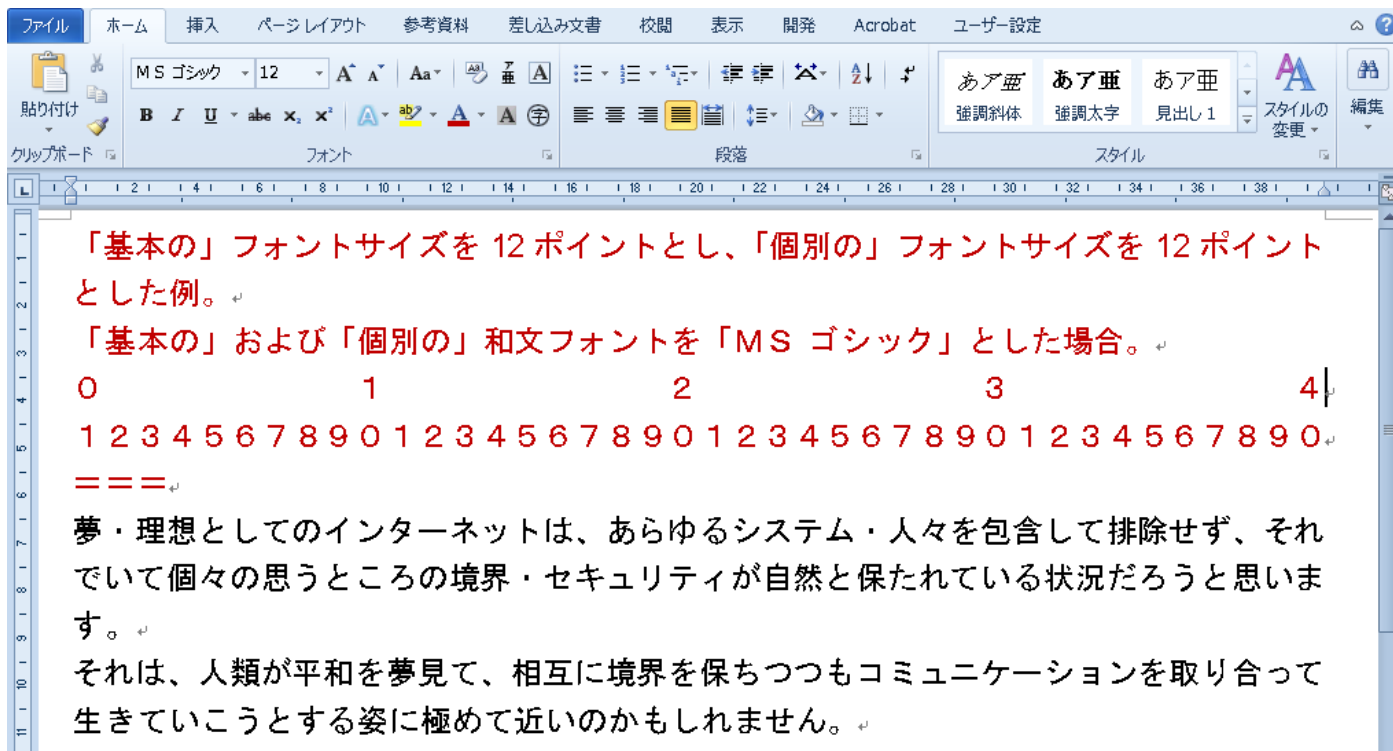


念のため、「基本の」および「個別の」和文フォントを「MS ゴシック」（プロポーションアルでは無い）にして、「基本の」フォントサイズを 10.5 ポイントと 12 ポイントに変化させた場合、表示される文字数がどのように変化するのかを提示しておきます。無論、「基本の」文字数と行数は、40 字、40 行と同じに設定しています。

### 3. 「基本の」フォントサイズを 10.5 ポイントとし、「個別の」フォントサイズを 12 ポイントとした例



### 4. 「基本の」フォントサイズを 12 ポイントとし、「個別の」フォントサイズを 12 ポイントとした例



どうでしょうか？ 「基本の」設定での「1 行当たりの文字数」は、「基本の」フォントサイズを使った場合の「文字数」なので、「個別の」フォントサイズが大きな文字を使えば、当然ながら一行当たりに記述できる文字数は減るわけです。無論 A4 の用紙 1 ページに記述できる情報量も変化するので、「最低限の指定の書式設定」ができないと、表現できる情報量で損をして、叶えられるはずの夢が儚く崩れてしまうかもしれません。